

「高低差」地形ウォーク第10回

築城400年の城下町 明石

2023年9月28日

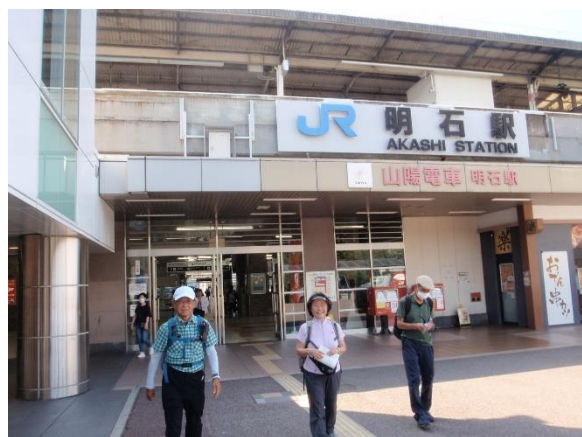
<参加メンバー> 5人(男性4人、女性1人)

<天候>

<コースタイム>

JR明石駅 10:10~10:40 明石港~旧灯台~船溜まり~12:00 海岸の松林(木陰で昼食)~12:40 海岸線の子午線標識から各子午線標識を辿り北上~13:00 明石市立天文科学館~柿本神社、月照寺~13:30 亀の水~本松寺(宮本武蔵の庭園あり、本日は開放)~14:10 明石城~武蔵の庭園~14:50 明石駅
(~明石焼き) 4H40' 8Km

明石海峡周辺の海岸線には高さ10~20mの段丘崖が続いており、古代には海から海岸線を見ると波風によって削られた段丘崖が剥きだして赤っぽく見えており、それが「赤磯」と呼ばれ「明石」に転じたという。江戸時代に、この段丘の西端に西国の守りとして明石城が築かれた。今回は明石港から海沿いを歩き、海岸遊歩道の子午線の標識を始め各種標識を海岸から段丘上の天文科学館へと子午線を辿り、段丘崖下に湧き出す亀の水でのどを潤し、地形の高低差を実感しながら明石城へ至り、石垣や堀などを見て400年の時の流れを感じ、最後は名物の明石焼きとビールの反省会で終了した。(Gi)



明石駅をスタート



明石藩武家屋敷門



明石港の先端



明石港旧灯台



明石港旧灯台の記念碑



明石港の船溜まり



明石海峡大橋、淡路島を背景に



堤防には小学生の絵が多数



明石海峡



海辺の松林で昼食



海岸遊歩道の子午線標識、東経 135°



子午線標識



標識は地球とトンボのデザイン



子午線をまたぐ男。黄線が子午線



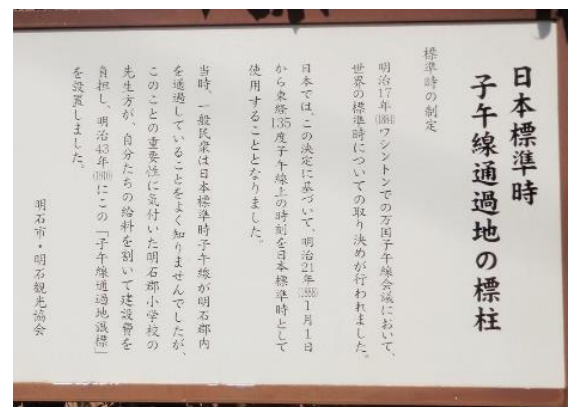
子午線沿いに一路、天文科学館を目指す



子午線交番



子午線標柱 明治 43 年設置



子午線標柱の説明版



子午線郵便局



子午線は駐車場を通る



子午線が通る明石天文科学館



柿本神社への階段



柿本神社、台地の上にある



子午線標識と天文科学館



子午線標識の説明版



湧き水は 300 年以上前から



段丘崖の下に湧き出る



本松寺の萩



明石城三の丸に到着



城から明石市街



翼櫓を背景に全員集合



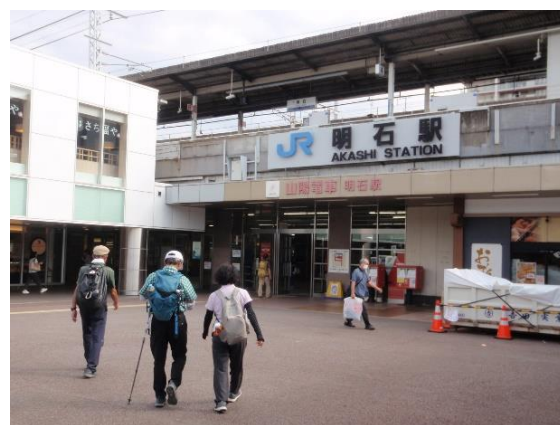
坤櫓。凜として風格ある。



石垣の高さは 20m



武蔵庭園と城。
宮本武蔵は明石の町割りをしたと伝えられる。



明石駅へ戻ってきた



♪は明石焼き

今回のルートの軌跡図

